

衆議院環境委員会ニュース

平成 30.12.4 第 197 回国会第 3 号

12 月 4 日（火）、第 3 回の委員会が開かれました。

1 環境の基本施策に関する件

- ・原田環境大臣、城内環境副大臣及び政府参考人に対し質疑を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

三浦靖君（自民）

- ・リピーターとして外国人観光客に我が国の様々な地域に足を運んでもらうため、国立公園満喫プロジェクトでより一層力を入れた施策の展開が必要と考えるが、環境省の見解を伺いたい。
- ・島根県の宍道湖をはじめ各地の湖沼環境保全対策に関して、環境省がリーダーシップを発揮して推進していく必要があると考えるが、環境省の今後の対応方針について伺いたい。
- ・他国由来の海岸漂着物の撤去に関して、地元自治体の負担を軽減するための特別措置を講じる必要があると考えるが、環境省の見解を伺いたい。

山本和嘉子君（立憲）

- ・頻発する異常気象と気候変動との関係について、原田環境大臣の考えを伺いたい。併せて、気候変動対策の必要性、緊急性についての原田環境大臣の認識を伺いたい。
- ・途上国に対し、フロン回収・破壊を促進するための支援が必要と考えるが、環境省の認識を伺いたい。
- ・プラスチック資源循環戦略の素案で示された使い捨てプラスチックの使用量の削減目標は、諸外国と比べて遅れていると考えるが、環境省の見解を伺いたい。

堀越啓仁君（立憲）

- ・温室効果ガス観測技術衛星「いぶき 2 号」(GOSAT-2)の打上げ成功について、城内環境副大臣に所感を伺いたい。また、今後の観測体制の方針を環境省に伺いたい。
- ・動物愛護管理行政を所管する環境省は、産業動物のアニマルウェルフェアに対するリーダーシップを発揮するべきと考えるが、原田環境大臣の認識を伺いたい。併せて、この問題に対する関係省庁の連携による検討状況及び今後の取組について、環境省に伺いたい。

- ・河川水中のマイクロプラスチックの実態調査や河川におけるごみ回収について、どのような具体的取組を行っているのか、環境省に伺いたい。

長尾秀樹君（立憲）

- ・カルタヘナ法におけるゲノム編集技術等検討会を今夏、急遽開催した理由と経緯について、原田環境大臣に伺いたい。
- ・ゲノム編集作物を予防原則に基づき規制する EU の考え方とリスクがなければ規制しない米国の考え方のどちらが望ましいと考えるか、原田環境大臣に伺いたい。

西岡秀子君（国民）

- ・マイクロビーズについては業界団体で自主規制が進んでいるが、マイクロビーズの使用を法的に禁止する必要があると考えるが、環境省の見解を伺いたい。
- ・アジア諸国での廃プラスチック輸入禁止措置により、国内での不法投棄が懸念されるが、国内の状況と今後の対策について、環境省に伺いたい。
- ・来年大阪で開催予定の G20 サミットを見据えた世界規模での我が国の海洋プラスチックごみ対策の戦略を、原田環境大臣に伺いたい。

小宮山泰子君（国民）

- ・生態系の多様な機能を国土づくりなどに活かすグリーンインフラの考え方について、原田環境大臣の認識を伺いたい。また、グリーンインフラの活用拡大に環境省が積極的に取り組む必要があると考えるが、原田環境大臣の見解を伺いたい。
- ・古紙等の資源ごみの持ち去り問題の現状及び環境省の取組とともに、条例だけでカバーできない問題も発生していることを踏まえた法整備などの必要性について、原田環境大臣に伺いたい。

田村貴昭君（共産）

- ・本年6月のG7サミットで採択された「海洋プラスチック憲章」に我が国が署名しなかった理由について、原田環境大臣に伺いたい。
- ・プラスチックの生産を減らし、廃プラスチックを輸出せず、熱回収は最終手段にするという考えをプラスチック資源循環戦略に取り入れる必要があると考えるが、原田環境大臣の見解を伺いたい。
- ・カネミ油症認定患者の同居家族認定に血中ダイオキシン類濃度が基準となっていないのと同様に、カネミ油症患者の認定についても血中ダイオキシン類濃度を基準とせず、あまねく救済をするべきであるとするが、厚生労働省の見解を伺いたい。